



かび臭ってなに？



横浜市水道局 新田 邦博
(令和7年度抄録委員会委員)

1. 水質基準としてのかび臭

水道水の水質基準51項目の中には、ジェオスミンと2-MIB（メチルイソボルネオール）というあまり馴染みのない項目があります。これらはかび臭の原因として知られる化合物で、水道水を飲んだ際に「かびくさい」と感じる原因物質です。

かび臭といっても人によって感じ方が違い、ジェオスミンは「土のようなにおい」と感じる人が多く、2-MIBは「墨汁のようなにおい」として感じる人が多いという特徴があります。ジェオスミンはわかるが2-MIBはわからない、またはその逆、と人によって感じ方も異なります。水質基準には含まれていますが、かび臭の物質が含まれていたとしても、実際にかびが生えたわけではなく、健康には影響はありません。

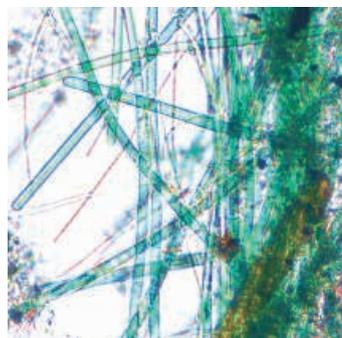
2. かび臭の原因

水道水の水源には湖、河川や地下水など色々ありますが、夏場に水温が高くなって藻類が発生してくると、かび臭も発生しやすくなります。これは、プランクトンの一種である藍藻（らんそう）類がジェオスミンや2-MIBを作り出すためと考えられています。

また、降雨や気温等の影響でも発生する藻類が変わるため、いつかび臭が発生するか、いつ改善するかを予測することは難しいというのが実情です。



ジェオスミンをつくる
藍藻類



2-MIBをつくる
藍藻類



横浜市水道局キャラクター
はまピョン

3. かび臭の対策

水道水を作っている浄水場では、水質基準に含まれているかび臭には特に注意をして対策をしています。代表的な対策としては、かび臭の原因物質を分解するオゾン処理や吸着除去する活性炭処理が行われています。

遠くのように意外と身近に感じることができる水道水の水源。たまにはそのにおいから、水源のことを考えてみてはいかがでしょうか。